

北口番外篇
P横丁的日乗
ペンギン堂雑貨店咆哮

「おやペンギンさん、どうしました、暗い顔して」。僕が困っていると妙に嬉しそうにパークのマスター鐘ヶ淵さん。「ふふふ、分かりましたよ、デイジイが撤退したせいではね?」、「笑ってる場合じゃないでしょ?折角出来たパン屋さんが消えたんだから」。大塚駅構内にあったチェーン店の支店が、いつの間にか無くなったのだ。「この街はパンの呪いがかかっています!」、「そう思うのはアナタがパン好きだからですよ」、「そうですかね。人類皆パン好きだと思つてた:」、「あははは、パンに呪われた街なんてありませんよ。でも確かに少ないですね。南口のサンロードと駅ビルの神戸屋だけ」、「ねっ、北口のパン屋はゼロ状態がずっと続いてるんです。でもこう飲み屋とラーメン屋が多いから、商圏無しって判断なのかも思つて」。ひょうたん島の跡地に十七階建てのマンションが出来たから、もしかしたらその一階にベーカリーカフェが出来るかも知れませんよ」、「そんな期待を抱かせるようなことを言わないで!」、「それならアナタがパン屋やれば?」、「それを言うなら鐘ヶ淵さんが現実味があります」、「こんなじいさんに早起きを強いないで下やごめ」。

「アナタの店の並びに来るのは?」、「岩手のコーヒー屋さんですつて」、「あとは北口商店街の解体が決まったふたつのビルに願いをかけますか」、「いや、糖喜びになりそうなので、止めときます」。どうやら大塚の小麦消費の多くは、麺類とアルコール飲料に注ぎ込まれているようだ。パン屋受難の日々はまだ当分続きそうだな。

「おやペンギンさん、どうしました、暗い顔して」。僕が困っていると妙に嬉しそうにパークのマスター鐘ヶ淵さん。「ふふふ、分かりましたよ、デイジイが撤退したせいではね?」、「笑ってる場合じゃないでしょ?折角出来たパン屋さんが消えたんだから」。大塚駅構内にあったチェーン店の支店が、いつの間にか無くなったのだ。「この街はパンの呪いがかかっています!」、「そう思うのはアナタがパン好きだからですよ」、「そうですかね。人類皆パン好きだと思つてた:」、「あははは、パンに呪われた街なんてありませんよ。でも確かに少ないですね。南口のサンロードと駅ビルの神戸屋だけ」、「ねっ、北口のパン屋はゼロ状態がずっと続いてるんです。でもこう飲み屋とラーメン屋が多いから、商圏無しって判断なのかも思つて」。ひょうたん島の跡地に十七階建てのマンションが出来たから、もしかしたらその一階にベーカリーカフェが出来るかも知れませんよ」、「そんな期待を抱かせるようなことを言わないで!」、「それならアナタがパン屋やれば?」、「それを言うなら鐘ヶ淵さんが現実味があります」、「こんなじいさんに早起きを強いないで下やごめ」。

バンドライブやります!
8月24日(土)

あなたのスペース



江東区の楽しい
美味しい情報がいっぱい

タウン誌
深川
Town Magazine Fukagawa



毎月10日ごろ出ますよ

本の雑誌



あなたとわたしの
演芸の友

東京かわら版

毎月二十八日を待て

編集後記のようなもの
都バスとのコラボで
スタンプリバーをやっ
てるもので、久々に銭
湯巡りをしました。銭
湯も進化してますね。
綺麗でお洒落で楽しく
てびっくり。それが近
所の店舗だったので、
何故もっと早く気付か
なかつたのか?と反省
しました。店主やス
タッフが若返った店も
多いようで、この仕事
の魅力と誇りを感じて
いるんだろうなと嬉し
くなりました。

大感謝配布協力
池之端・古書ほうろ
う、雑司が谷・旅猫雜
貨店、法善寺横丁・洋
酒の店路、目黒・ふげ
ん社、浅草・珈琲アロ
マ、平井・平井の本
棚、神宮前・シーモア
グラス、大塚・山下書
店。まだ募集中!



版元:東京ペンギン堂本舗
豊島区北大塚2-26-1-1F



社長の町

勝つてくると板橋区でお馴染みの、仕事終わりはすぐ北区と並んで、二十三区屈指の魅惑タウンでありますよ。池袋辺りから区内随一の幹線道路たる川越街道を走ることしばし、幸せに包まれた板橋区幸町があるのです。幸町ですよ!東京でこの勝負できるのは、台東区寿くらいでしょうか。でもね、こちらには神様が住んでいるのだ。しかも社長さん。株式会社ゼウスです。創業からして未来永劫

社長の組織体制。万全の組織体制。静かな住宅街の真ん中を貫くさいわい通りの、無闇に背の高建物もなく、広い空と真っ直ぐな道は、周囲に幸福感を染み渡らせませす。階段は、ひょっとするとStairway to Heavenではないか?なんて思つてしまいます。少し歩くと年季の入った低層ビル群、風雨に晒されて判別不能な地図をまじまじと見れば、勿論幸町団地の文字が確認できます。年月に耐え、素敵に赤錆まみれとなった波型トタン家屋が青空を背に佇む姿は、マニア垂涎の風景です。時を刻み忘れたかの如き懐かしさ満載の洋品店も、のんびり日向ぼつこの最終。販売停止から何年経過したかも分からぬあの乾電池の自販機は、町の大切なオブジェなのかも知れません。

食材が揃うよ。公園の隅には、幸せそうな都電とバスが乗客を永遠に待ち続け、程よい乗車率になつたところで、幸福ガスが充填されたガスタンク裏停留所に向かうのです。とある倉庫前にうず高く積まれた片栗粉の箱も、きつとドーパミン上昇の作用があるのでしよう。意外と多い路地も見事な一直線ばかりで、街歩き人の頬を緩めること請け合いです。これが喧しい街道沿いにあるとは到底思えない幸町で幸福度を上げたら、お帰りには社長長への感謝と挨拶をお忘れなきように……。



安心設計
コチョウスレドモ
ウソハツカナイ



今日も銀座に行かなくちゃ…

際立つ個性は生き残れるのか

相変わらずあれもこれも消えていく銀座です。勿論消えた跡には新しい何かが出来るとは、出来た途端に前の建物を見事に忘れちゃう鳥頭です。

以前歩いたカプセルタワービル跡地のフェンスが消えて、その意外に狭い敷地面積にびっくりしましたけど、そう遠くないうちに出来るであろうビルが、前まであった銀座名物の思い出を、どんどん消してしまおうんでしょうね。そついや、その近所にあった元豆腐屋さんも更地になりました。廃業後も長いこと建物だけ残ってましたが、きつと後釜が決まったんでしょ。

カプセルタワー無き後、銀座

の異系名物ビルといえば、やはり静岡新聞・静岡放送東京支社ビルですよ。巨大な円筒を中心に、箱型ユニットがへばりついているみたいな愉快な姿を、かの丹下健三が設計したと言われても、俄に信じ難いでしょう。銀座でどの建物に入ってみたいかと聞かれたら、絶対ここです！服部時計店の屋上より、あの筒の中を歩いてみたいもの。

銀座円筒形の代表選手だった三愛ビルは解体中で、その目隠しを見るたびに低くなっていくのが切ないですね。天下の四丁目交差点ですからきつとランドマークになるようなビルが出来ると思っけど、円筒は無理ですよ。つまりここが銀座で唯一の円筒ってことになり

ます。でも考えたら、カプセルビルも静岡ビルも九丁目なんです。際立つ个性的ビルが街の際にあったということ。

そんなビルも消え始

めてるけど、路地も減りつつあるみたい。金春小路に面したビルの工事も近そうで、そうなるこの超小道も無くなる運命でしょう。ほんやり歩いてたら気が付かない小さな看板も、いつまで見られることか…。

解体されて後釜が決まらないと、お約束のコインパーキング誕生です。一時間停めると大散財な駐車場が増えたり減ったりする忙しい銀座。でも変化する姿に遭遇するのも、案外楽しかったりするんですけどね。



ぼくが夏目坂に通うわけ



高田馬場から、狭苦しい東京の地下鉄の中でも珍しい、大阪ばりに広め車両の東西線に乗ってひと駅。早稲田から地上に出れば、右手にはこんもりとした森を従えた穴八幡の鳥居が見える。この隣に足腰の神様が祀られるお寺があるんだよなと思いつつ、もう既に足腰が痛いから切つての夏目坂。地元・牛込馬場下横町の名主だった夏目家所在地が由来の坂道とか。

漱石生誕地の石碑手前には、夏目家御用達どころか、助太刀に向かう堀部安兵衛が一杯引っ掛けたって酒屋まである。すく



先にある聖徳太子のガソリンスタンドで道は二手に分かれ、道なりが正統派夏目坂で、終の棲家となった漱石山房があるけど、捻くれ者は右に曲がっての寺町歩き。ここの植え込みのおしろい花は真っ白な花が咲くんだよなと歩みをすすめりゃ、印刷所や紙加工工場が少々。オーブンの置き看板が手招きする夏目坂珈琲でゆったりするのは、最後のこ褒美ってことで。

この道唯一のひよろひよろ桜も一輪二輪と咲き出して、眼の前の小さな集合住宅を境に、道は一気に狭くなる。しかも見上げるような急坂が行く手を阻むのだ。下戸塚坂とは書いてあるものの、江戸時代は武家屋敷だらけで特に名前も地名もなかったらしいけど、舗装もないこの急勾配を草履や草鞋で登るのは、そりゃ大変だったろうな。

坂の途中の右側は路地だらけ。細道を遮るような電柱は天を突く迷惑振



りで、その先は案外曲がれる道がないラブリンス。でも今日は魅惑の切り通しを横目に坂を上り詰める。通りに出ると、斜め左にはおよそ和菓子屋らしくない栄光堂の白い看板。横断歩道を渡ってすぐ右脇には、柳生但馬守の屋敷跡。なるほど武家屋敷の町か…。踵返して一本手前の小道に、目指す整体院が僕を待っている。猫背ですよって、また叱られるんだよな。

